

議題（１） 令和５年度の状況について

資料 1

1 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	備考
4月	26日間	4,755人	企画展「北斎漫画」開始（4/22～）
5月	26日間	6,795人	
6月	26日間	2,788人	企画展「北斎漫画」終了（～6/4）
7月	26日間	2,754人	企画展「井ヶ谷古窯展」開始（7/22～）
8月	27日間	2,875人	
9月	26日間	1,898人	企画展「井ヶ谷古窯展」終了（～9/10）
10月	26日間	3,523人	企画展「姫たちの想い」開始（10/14～）
11月	26日間	4,695人	企画展「姫たちの想い」終了（～11/26）
12月	24日間	2,820人	天誅組160年記念連続講座開催（3日間）
1月	24日間	2,192人	
2月	25日間	1,623人	
3月	26日間	2,906人	
合計	308日間	39,624人	開館以来の累計 185,584人

4月25日（開館1,171日目） 入館者数15万人達成

2 企画展開催事業

刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会や、遠方の歴史資料を借用公開することでさまざまな歴史資料に触れる機会を市民に提供。

(1) 北斎漫画 一驚異の眼・驚異の筆一

ア 会 期 令和5年4月22日(土)～6月4日(日) (開催日数38日間)

イ 監修協力 監修：浦上満(浦上蒼穹堂代表)

企画協力：山形美術館、株式会社アートワン

ウ 観 覧 料 一般(高校生以上)600円、中学生以下・障害者及び付き添い1名は無料

エ 観覧者数 6,917人

オ 展示品数 218点(前期・後期で総展示替)

カ 印刷物 ポスター、チラシ、図録(有料頒布、1冊2,000円)

キ イベント 講演会

・4月22日(土)「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」

講師：浦上満氏(本展監修者)(聴講81人)

・5月21日(日)「北斎の画業と『北斎漫画』」

講師：永井優香子(当館学芸員)(聴講38人)

展示説明会

・5月7日(日)

講師：永井優香子(当館学芸員)(聴講34人)

この他に体験イベント「『北斎漫画』でおさかなつりゲームづくり」「『北斎漫画』スタンプでオリジナルポストカードづくり」「『北斎漫画』缶マグネットづくり」や教員向けギャラリートークを実施した。

また、同時期に浮世絵の展覧会を実施していた高浜市やきものの里かわら美術館と相互割引・連携クイズラリーを実施した。

(2) 井ヶ谷古窯展—いにしへの刈谷のものづくり—

ア 会 期 7月22日(土)～9月10日(日) (開催日数44日間)

イ 観 覧 料 無料

ウ 観覧者数 3,566人

エ 展示品数 約200件

オ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット(無料)

カ イベント 講演会

・7月22日(土)「ものづくり王国・愛知の幕開けと井ヶ谷古窯跡群」

講師：大西 遼氏(愛知県陶磁美術館学芸員)(聴講29人)

体験

・8月5日(土)出張!歴史博物館 カラフルな勾玉づくり

※刈谷ハイウェイオアシスにて開催(参加97人)

愛知教育大学連携イベント

- ・ 8月12日（土）「発見！！歴史探検隊—博物館からの挑戦状—」
講師：愛知教育大学 学生 参加人数：午前19名、午後17名
夏休み特別イベント
- ・ 日時：8月20日（日）「石器づくり体験」
講師：平井義敏氏（みよし市立歴史民俗資料館学芸員）、
野村啓輔（当館学芸員） 参加人数：午前5名、午後6名
このほか松根第3号を訪問するギャラリートークとバスツアー、ナイトミュージアムとギャラリートーク、教員向けギャラリートークを行った。

(3) 姫たちの想い～家康を支えた水野家の女性たち～

- ア 会 期 10月14日（土）～令和5年11月26日（日）（開催日数38日間）
- イ 観 覧 料 一般（高校生以上）800円（各種割引あり[200円引]）、
中学生以下・障害者無料（付添1名無料）
- ウ 観覧者数 3,502人
- エ 展示品数 46件（愛知県指定1件、福岡県指定1件、
新城市指定1件、阿久比町指定2件、刈谷市指定3件10点）
- オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録（有料頒布、1冊1,500円）
- カ イベント 講演会

- ・ 10月28日（土）「家康の父・松平広忠とその後」
講師：柴 裕之氏（東洋大学非常勤講師）（聴講79人）
- ・ 11月11日（土）「家康を支えた女性たち」
講師：福田 千鶴氏（九州大学基幹教育院教授）（聴講98人）

展示説明会 10月15日（土）

講師：山下 智也（当館学芸員）（聴講20人）

その他イベント

- ・「出世大名家康くん・おだいちゃん・かつなりくん大集合！」
11月3日（金・祝）
刈谷城盛り上げ隊演舞、おはなし会（講師：河村 智美（当館指導主事））を併催、浜松市・東浦町・刈谷市 PR ブース設置、キッチンカー出店
- ・「特別ひめ茶会」
11月4日（土）参加人数：152名、5日（日）参加人数：155名
お茶券・企画展セット券1,000円

この他に、手まりづくり体験、ひめクイズラリー、ギャラリートーク、教員向けギャラリートークなどを実施した。

3 常設展開催事業

歴史ひろばのテーマ（刈谷の縄文時代、刈谷藩と城下町、刈谷発の近代化）ごとに刈谷の歴史に関する実物の資料を常時公開。また年4回展示替えを行い、ギャラリートークを行った。

- (1) 展示替え 7月、10月、1月
- (2) ギャラリートーク参加人数 延べ48人

4 参加・体験型歴史文化教育普及事業

郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、市民が歴史文化について学ぶ機会を創出。

(1) 歴史文化体験講座の開催

5月から毎月1回開催 (全10回)

参加人数 延べ245人

例) 香袋を作ろう (お香入門)、有松・鳴海絞り体験 など

(2) 簡単工作 (土日祝)

はにわストラップ、オリジナルうちわ、折り紙「お城」、「おひめさま」など。

参加人数 延べ2,618人

(3) 出前講座

教育委員会生涯学習課を通して実施。学芸員が刈谷の歴史のテーマに沿って、依頼元の依頼に沿って講座を行った。

※特記事項として、本年は地区の郷土史研究会の求めに応じ連続講座を実施した。

この他、刈谷高校1年生「地理探究」の学習で「刈谷の縄文時代」、「鉄道敷設の頃の刈谷」について講義を行った。

(4) 古文書解読講座 (中級編)

学芸員が交代で講師となり、1～3月にかけて全5回の連続講座を実施。

修了者31人

(5) 歴博ゼミナール

8月11日 (金・祝) 「アジア太平洋戦争期の刈谷―石川文中の日記を手がかりに―」

講師：広中 一成氏 (愛知学院大学文学部歴史学科准教授)

長谷川 怜氏 (皇學館大学文学部国史学科准教授) (人数48人)

(6) 天誅組160年記念事業の開催

- ・記念講演会 9月16日 (土) 「学問的交流から見る松本奎堂の思想」

講師：前田 勉氏 (愛知教育大学名誉教授) (聴講42名)

- ・連続講座 インTRODクシヨN講座

12月2日 (土) 「天誅組と刈谷からの参加者」

講師：山田 孝氏 (刈谷市文化財保護審議会 会長) (聴講78名)

- ・連続講座 第1回

12月2日 (土) 「文久三年中央政局と薩摩藩―八月十八日政変を中心に」

講師：町田 明広氏 (神田外語大学教授) (聴講71名)

- ・連続講座 第2回

12月10日 (日) 「長州藩家臣にとっての『八月十八日の政変』」

講師：重田 麻紀氏

(慶應義塾大学文学部古文書室研究員・萩市須佐歴史民俗資料館特別学芸員) (聴講63名)

・連続講座 第3回

12月16日(土)「攘夷運動を見聞した人々

ー八月十八日の政変前後の京都民衆と情報ー

講師：吉岡 拓 氏(明治学院大学准教授)(聴講51名)

(7) 開館5周年記念イベント(3月24日(日))

特別結成したジャズバンドによる演奏の他、けん玉&コマパフォーマンス兄弟「とにへず」、山車囃子等が出演。これまでに開催した企画展を掲示で紹介。

(8) 子ども歴史体験講座

6月：バックヤードツアーと板状土偶づくり 参加者16名

7月：子ども向けギャラリートークと拓本ランプづくり 参加者31名

11月：子ども向けギャラリートークとマープリング扇子づくり 参加者13名

(9) 他イベント開催

・甲冑試着体験 5月3日(水・祝)

・なりきり体験でフォトマグネット 2月12日(月・祝)

5 小中学生の館内見学・体験学習の支援

小中学生を対象に見学の機会を提供し、郷土の歴史文化に関する学習の支援。

(1) 中学校1年生の「企画展示室*」、「歴史ひろば」、「お祭りひろば」及びバックヤード見学(5~7月) *開催期間中のみ

(2) 夏休み子ども歴史相談

歴史に関する質問を指導主事が回答する機会を設けた。全2回

(3) アウトリーチプログラム

各小学校が博物館に依頼。博物館にある歴史資料を学校に持参し、指導主事が授業を行った。小学校6年生が対象。

市内15小学校のうち、4校で実施

6 博物館事業の啓発・広報

(1) 歴史博物館ホームページ

展示やイベント、利用案内、交通アクセス等の情報を掲載。

(2) 市民だより

企画展や関連するイベント、歴史体験講座の案内等を随時掲載。

かわら版・歴史散歩(収蔵品を紹介、毎月1日号)。

(3) 博物館ニュース

企画展の案内や企画展に関する小論等を掲載。

年3回発行。9月末、12月末、3月末に発行。

(4) かわら版

7月、10月、3月にイベント周知のかわら版を市内小学校に配布した。

(5) 年報

博物館の概要・組織、その年度の予算・実施事業・活動結果報告などを掲載。

10月1日に第4号を発行。(郷土資料館分と合冊)ホームページにも掲載。

(6) 研究紀要 (有料)

刈谷の歴史に関わる調査研究や、博物館の活動成果を掲載。

(7) 物品販売

当館開催の展覧会図録や刈谷市史、発掘成果報告書、市史関連DVD刈谷偉人伝等を販売し、調査・研究成果を広く普及・啓発。

企画展関連や当館PRのためオリジナルグッズを製作・販売。

7 市史資料整理活用事業

(1) 市内外に存在する資料の調査・収集・整理・保存

刈谷市役所保存期限満了公文書のうち区画整理関係、国文学研究資料館の所蔵資料ほか調査を行った。

(2) 収集資料の閲覧用紙焼本の製作

依佐美送信所文書 (一部)、鈴木重明家文書 (一部)

(3) 資料閲覧室における閲覧対応

入室者数 延べ898件

閲覧者数 延べ164件

出納件数 延べ1111件

8 発掘調査出土遺物整理活用事業

(1) 出土遺物の注記・接合作業

(2) 宅地建設等に伴う試掘、及び緊急発掘調査

(3) 分布調査成果をまとめた報告書の刊行

(4) 松根第3号窯の発掘調査

9 資料の寄贈・寄託

(1) 個人宅や寺社等からの依頼による調査10件

(2) 資料の寄贈・寄託手続き

寄贈14件 / 寄託0件 (追加寄託1件)

10 資料の購入

資料収集方針に基づき、刈谷の歴史に関わる重要な資料を古書店等から購入。

・徳川二十将図 1点

・東海道細見大絵図 1点

・其姿紫の写絵 1点

・秋夜双鷺図 1点

1 1 博物館資料の保存管理

- (1) 館内の適切な温湿度環境の維持及び虫害の防除（通年実施）
I PMの手法を用い、館内のモニタリングと虫害防除策を実施。
- (2) 収蔵品の修復、及び什器の制作
修復資料
 - ・肴町の山車
 - ・奴の練道具
 - ・澤梅谷「花籠に文鳥」（開館5周年記念企画展「めでたきとり」に出品中）複製制作資料
 - ・松本奎堂・宍戸弥四郎肖像画（令和6年4月展示替えより原本と入れ替えて展示中）
- (3) 資料の燻蒸（令和5年度1回実施）
受贈資料を中心に、虫害の発生が懸念される資料に関して、環境負荷の少ない方法での燻蒸を実施。

1 2 学芸員による調査・研究

各自の専門分野を生かし、博物館資料や刈谷の歴史に関する調査・研究を行った。その成果の一部を、『刈谷市歴史博物館紀要』第4号にて発表した。また、企画展の展示図録における論考や、常設展の展示替えにて成果を報告した。

この他、『宮東第1号貝塚埋蔵文化財調査報告書（平成10～28年度調査）』、『刈谷城跡確認調査報告書—亀城公園再整備事業に伴う埋蔵文化財調査—』、『刈谷市指定文化財「鉄錆地塗紺糸絨塗込仏胴具足・尉頭形兜」修復・調査報告書』を刊行した。

1 3 博物館実習の開催

学芸員資格取得を志望する学生を受け入れ、博物館の学芸業務を実習した。

期間：8月16日（水）～22日（火）（19日（土）、21日（月）を除く）5日間

受講者：7名

1 4 郷土資料館との連携

郷土資料館における展示、歴史博物館常設展示において学芸員及び指導主事により連携を図った。また夏休みのイベントとして郷土資料館と連携してクイズラリーを行った。

1 5 その他

- (1) 団体見学・視察受入
教育関係 9団体、研究会 2団体、その他 12団体の見学・視察を受け入れた。
- (2) 刈谷城盛上げ隊の出演
エントランスロビー等でグリーティングを行い、来館者との触れ合いの場をもうけた。
実績 11回（郷土資料館3回を含む）
- (3) 外部研修の受講

- ・ミュージアム・トップマネジメント研修
 - 日程 令和5年9月27日（水）～29日（金）
 - 場所 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター
 - 受講者 館長 田代 英徳
 - 内容 マネジメント・事業評価・改善等に関する高度な専門知識の習得や、博物館運営責任者としての力量向上を図った。
- ・第12回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー
 - 日程 令和5年8月21日（月）～25日（金）2年継続開催の2年目
 - 場所 京都国立博物館
 - 受講者 学芸員 長澤 慎二
 - 内容 国指定文化財のうち、工芸・絵画・書跡・彫刻・考古資料・歴史資料各分野の資料の特質、取扱い方法を学ぶとともに、修理の技法や注意点を学んだ。
- ・アーカイブズ・カレッジ短期コース
 - 日程 令和5年11月6日（月）～11日（土）
 - 場所 豊の国情報ライブラリー〔大分県立先哲史料館・同県立図書館・同県公文書館〕
 - 受講者 学芸員 山下 智也
 - 内容 アーカイブズの収集・整理・保存・利用等に関する最新の専門的知識、技能の習得を行った。また、当館所蔵資料を利用し、修了論文を執筆・提出した。

(4) 来館者アンケートの実施

- ・期間：通年【別紙1】
 - 企画展「北斎漫画」期間中アンケート【別紙2】
 - 企画展「井ヶ谷古窯」期間中アンケート【別紙3】
 - 企画展「姫たちの想い」期間中アンケート【別紙4】

※回答者にオリジナルグッズを進呈（桜まつり期間中を除く通年）